

## 協働事業報告書

事業の名称	にしのみや子ども農業体験ツアー		
団体名・氏名	特定非営利活動法人プレーンヒューマニティー	関係課(G)名	西宮市農政課
事業費	119,691円	市の負担額	82,000円

事業の目的及び内容	(目的)	
	西宮市内南部に居住する子ども達が、普段あまり見る機会が少ない市内で行われている農業生産に触れ、実際に体験することで、普段自分が口にかけている農産物と自分とのつながりを学び、食文化や地域で採れる農産物への理解を深めることを目的とする。	
	(内容)	
	市内小学生が、市内の大学生引率の下、さくらやまなみバスにより、山口町まで向かう。現地では、生産者の指導により、野菜の定植と収穫を体験する。	
	(市民活動団体等の役割)	(市の役割)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画全般</li> <li>・従事者の確保(西宮市内の大学に通う学生等から)</li> <li>・参加者募集、受付などにかかる事務作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内北部の農家に対する受け入れのマッチング</li> <li>・作業や農業等の説明等の指導協力者(農協)の紹介</li> <li>・広報への協力</li> </ul>

	市民活動団体等	市 ※
協働事業の成果	<p>(協働の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従前より、農業体験の機会を子ども達に提供する必要性を感じていたものの、当会では、農業生産者や生産者団体のつながりがなかったため今まで実施できなかったところ、今回市農政課が仲介を行ったことによりJAと生産者につながることができ、事業として実施することができた。</li> </ul> <p>(事業の成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内農業を身近に感じることができた</li> </ul>	<p>子どもたちが、定植や収穫の農業体験を通じて農業や食について理解し、身近な場所で農業が営まれていることを知ったと思う。</p> <p>また、農家にとっても多くの子どもたちとのふれあいや、作付けた農作物に対するいつも以上の気の使いようなど、良い意味で刺激を受けていた。</p>
課題	<p>(協働の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農政課と参画協働グループから積極的な参画があったため、協働に課題は感じなかった。</li> </ul> <p>(事業の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の収穫の時期が直前までわからず、日程の案内が遅れた結果、収穫参加者が減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家や事業協力者(農協)の紹介を行い、役割は果たしたと思うが、事業を一緒になって実施したという達成感は少ない。事業計画段階から関われば、違った結果となったかも知れない。</li> <li>・山口町の各地区農家代表者の集まる会議で協力依頼をしたが、結局は個別に農家に当たらないと協力は得られない状況である。こういった種類の事業提案は今後もあるかも知れないが、協力農家を探せるかは不安である。</li> </ul>

注1 事業実施が確認できる資料(写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等)を添付してください。

注2 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

## 自己評価書(ブレンヒューマニティー)

事業の名称	にしのみや子ども農業体験ツアー	
団体名・氏名 関係課(G)	・特定非営利活動法人ブレンヒューマニティー（理事長：能島裕介） ・西宮市農政課	
自己評価欄（該当する選択肢に○をつけてください。）		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）  
	<input checked="" type="radio"/> 2. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）  
	<input checked="" type="radio"/> 2. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実施した効果はあったか	<input checked="" type="radio"/> 1. 非常にあった	主な理由  今まで当会としてつながりのなかった農業生産者、JAなどとのマッチングが、農政課によって実現できたことは、本事業にとって非常に意味があった。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	・協働事業として事業の実施が開始したのが7月であったため、農産物の定植と収穫まで行う場合は、冬に収穫できる農産物でなければ実現が困難であった。今後、同様の趣旨で事業を継続したいと考えているが、その場合は春季から事業を開始し、農産物が豊富な夏場に収穫時期がくるような事業として展開したい。	

## 自 己 評 価 書 (農政課)

事業の名称	にしのみや子ども農業体験ツアー	
団体名・氏名 関係課(G)	・特定非営利活動法人ブレーンヒューマニティー（理事長：能島裕介） ・西宮市農政課	
自己評価欄（該当する選択肢に○をつけてください。）		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	② 概ねできた	
	3. あまりできなかった	
	4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	② 概ね期待どおり	
	3. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	② あった	
	3. あまりなかった	学童に対する農業体験事業については、学校園に任せられた状況であり、ほとんど実施していなかったが、協働事業によりその経験を得ることができた。（今後の施策の参考にもなる。）
	4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	別途行っている農業体験事業でも同様であったが、気候、天候及び農作物の生育状況により、農作業の日程が大幅に変更になるので、その点を参加者に十分理解してもらう必要がある。	

